

低CO₂川崎ブランドと川崎メカニズムの推進

本市は、環境分野においては先進自治体であり、公害克服に向けた過程で培った経験やノウハウ、温暖化対策に向けた最先端の環境技術が多く蓄積されています。市内事業者は、事業所から排出される温室効果ガスの削減に取り組んでいるとともに、世界トップクラスの環境技術を活かし、省エネ製品の開発や環境配慮設計などを通じ、製品の使用・消費時のCO₂排出量の削減に多大に貢献しています。

〈低CO₂川崎ブランド〉

本市では、平成21年度から原料調達から廃棄・リサイクルまでのライフサイクルの視点でCO₂削減に貢献している市内の優れた製品・技術等を「低CO₂川崎ブランド」として認定する事業を試行実施し、平成24年度から本格実施しました。



〈川崎メカニズム〉

更なる取組の推進を目指し、市内事業者の優れた環境技術による原料調達から廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体を考慮した「市域外で温室効果ガス削減に貢献する量(域外貢献量)」を市が認証し、市内事業者の温室効果ガスの直接排出量とともに評価する「川崎メカニズム」を構築し、平成25年度から「川崎メカニズム認証制度」として運用を開始しています。

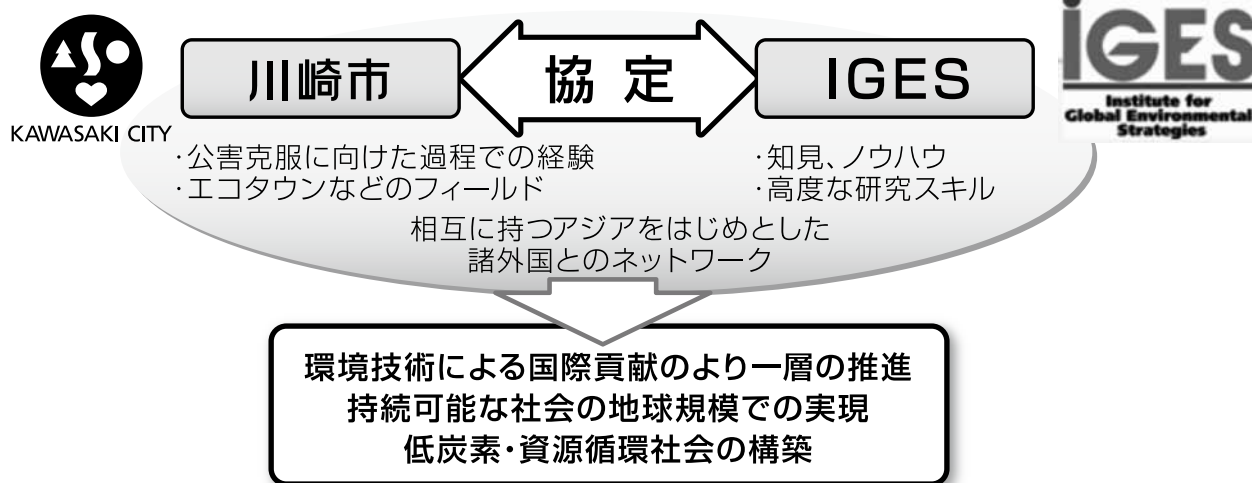


これらの取組により、市内事業者の優れた製品・技術等の付加価値向上に取り組むことで、海外への環境技術の移転やグリーンイノベーションの促進につなげ、地球規模の地球温暖化対策に貢献してきています。

地球環境戦略研究機関(IGES)との基本協定の締結

本市は、2013年8月8日に公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)と「川崎市と公益財団法人地球環境戦略研究機関との連携・協力に関する基本協定書」を締結しました。

本協定により、川崎市の公害克服に向けて取り組んだ過程で培った経験や、IGESの持つ知見、ノウハウや高度な研究スキル等を活かし、環境技術国際貢献のより一層の推進や、持続可能な社会の地球規模での実現、低炭素・資源循環社会の構築を目指します。



基本協定の締結による新たな取組

- 1 共同研究・事業の推進
- 2 講演会・学術セミナーの共催
- 3 人材交流